

活動報告

団体名	DEF～災害エキスパートファーム
活動名	令和3年8月大雨による佐賀県での支援活動
活動期間	2021/09/10～2021/12/31
活動の成果	<p>現地にて、杵藤消防数名に対して小規模なチェーンソー講習を実施しました。近年各地で多発する災害に、技術系災害ボランティアの人手不足が著しく、地元のNPO団体や消防系ボランティアへの講習会を積極的に実施していきたいです。</p> <p>行政区分、社協区分、NPO区分とそれぞれ分けて対応するのではなく、各々の区分で出来る事をお互いに提案し、より多くの知恵を出し合い、二度目の被災により心身ともに疲れ果てた住民の経済的負担や先の心配を少しでも取り除く体制の足がかりができたのではないかと思います。</p> <p>また今回は熱海や長野でも災害が併発しており、佐賀にて当団体の重機や車両が使えない状況となり頭を悩ませることが多かったです。重機のニーズが多いため、重機調達は必要不可欠ですがオペレーターや資金面を考えると容易ではありません。今回の助成金のお声かけは本当に助かりました。</p> <p>被害規模が大きく、行政、NPOとの役割分担も大きな課題となりました。大町町にて日本レスキュー協会の拠点が出来き、今後佐賀を中心とした技術系NPO団体や、消防に対しての各種講習会を実施していければと思っております。我々も応急的な対応だけでなく、最終的には次の災害に備える整備を行っていかないと来年、再来年と同じ事の繰り返しになりかねません。DEF-TOKYOは今後も各地域の災害に対するチカラの底上げを図っていききたいと思っております。</p> <p>嬉野市の被害状況は大きく、近隣の連携団体へも応援を要請する形で対応出来ました。日頃より連携団体との情報共有が重要であると、今回痛感しました。同市にて農業ボランティアも開始されました。また、我々が重機対応した農家さんのお茶が賞を取ったとの事で、嬉しい報告でした。少しでも確実に前に進むお手伝いのできたのではないかと思います。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>貴重な募金を私たちの活動に活用させていただき、深く感謝しております。被災地との繋がりを大切に今後も支援に携わってまいります。このたびはありがとうございました。</p>

(活動のようす)

